会議結果報告書

1　会議名	ごみ処理に関する課題についての意見交換会（共恵海岸通り自治会）
2　日時	平成30年6月23日（土）11：00～12：00
3　場所	高砂コミュニティセンター
4　出席者	（資源循環課）添田主幹、森岡副主査、永井主任 （環境事業センター）加藤所長補佐、門倉副主査 （共恵海岸通り自治会）参加人数：32人
5　内容	本市のごみ処理に関する課題について意見交換会を実施した。会議の主な質問と意見は次のとおりであった。 ●茅ヶ崎市の税金は、安くはないと考えている。また、福祉にかかる経費が増大することは、どの市町村でも言えることである。その中で、ごみの有料化を実施し、手数料を徴収するのは、安易な方法ではないか。トータルの市民負担を他市と比較し、財政部局と協議した上で、検討を進めるべきと考える。 →負担のあり方等について、財政当局と協議し、全体的な財政運営の中で検討させていただく。 ●平成27年度の施設等の改良費を除いたごみ処理費においての、市民一人当たりの経費はいくらかお示しいただきたい。施設等の改良費を入れて市民一人当たりの経費を算定するのは適切とは思えない。 →改良費等を計上していない平成26年度については市民一人当たりの経費は14,290円であるが、平成27年度については、今すぐにはお示しすることができない。 ●ごみ1トン当たりの処理経費は、他市と比べて高いのか。また、その処理経費を減らす取り組みについて、なにか行っているのか。 →茅ヶ崎市はトン当たりの処理経費は74,959円である。他市との比較については、ごみ処理経費の計上の方法が市町村によって異なるため、なかなか比較が難しいのが現状である。また、処理経費の削減の取り組みについては、人件費の抑制を、民間へ委託するなどの手法により行っていきたいと考えている。 ●平成28年度の経費について、21億の建設改良費を全額計上し、市民一人当たりの経費を算出しているが、減価償却に応じて経費を支払っていると思われるため、市民一人当たりの経費の見せ方は注意が必要と考える。 →ごみ処理経費の見せ方については、よくご指摘いただくところだが、その見せ方については十分に注意し、誤解を招かない、より良い見せ方を検討していきたい。 ●市が取り組むことを4つお示しいただいたが、その他はあるか。御殿場市はごみの処理方法自体を変えるなどの取り組みを聞いたことがある。また、ごみの有料化を実

	施したときにどのくらいごみが減量されると考えているか。 →まずは、お示しした 4 つの取り組みを中心に取り組んでいく。廃油などをバイオ燃料として資源化する取り組み等を検討した経緯はあるが、費用がかかるため、費用対効果を考えながら検討を進めて行きたい。また、市では法定計画であるごみ処理基本計画を策定し、リサイクル率やゴミ排出量などの数値目標を設定しているため、ごみ有料化に伴って、その数値目標が達成できればと考えている。 以上